

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称 [英語名称]	からだと疾病実習Ⅱ [Experimental MedicineⅡ]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	
科目コード	307400	授業形態	実習	単位数	1	配当学年	2年次
教員氏名	小川 恒夫			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DP3(2)		
授業概要	<p>本実習の目的は解剖生理学の知識を定着させる事と、医療機関で行われる検査を理解する事です。からだと疾病Ⅰ、Ⅱの座学では教科書やプリントで解剖学や生理学を勉強しました。臓器は立体的なもので教科書やプリントでは理解しにくい部分があります。人体模型や顕微鏡を使うことによって理解を深めてもらいたいと思います。また心電図検査、肺機能検査など医療機関で行われる検査を実際に体験する事により、検査の目的や結果の評価の仕方を学んでもらいます。</p> <p>実習で学んだ知識が医療現場でどのように役立つかを、病院での実務経験のある教員による説明を受けながら実習を行ってもらいます。</p>						
関連する科目	<p>本授業の履修前に受講することが望ましい科目：からだと疾病Ⅰ・Ⅱ、からだと疾病実習Ⅰ、臨床医学Ⅰ 本授業の履修後に受講することが望ましい科目：臨床栄養学Ⅱ～Ⅳ</p>						
授業の進め方と方法	<p>1～8回目：最初に実験の概要を説明し、実験を行い、課題を解決する。 9～11回目：人体模型をスケッチし、それぞれ人体の部位などをスケッチに記入する。その後、その週の課題を暗記し、教員の面接を受け課題が正しく理解・暗記されているか確認する。 12～14回目：顕微鏡で観察するポイントの説明を聞き、顕微鏡を観察する。その後スケッチし、必要な医学用語をスケッチに記入する。最後にその週の課題を暗記し教員の面接を受け、課題が正しく理解・暗記されているかを確認する。 教科書だけだとわかりにくい部分があると思われるので、1年生の時に理解できていなかった部分を今回の実習で、理解するようにする。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脈拍測定、運動負荷の方法について 2. 心電図の検査法の学習、運動前後の心電図変化、運動前後の体温の変化について 3. 血圧測定法の学習、運動前後の血圧変化、視力検査について 4. 身体計測(体重、身長、体脂肪率、皮下脂肪厚の計測)と皮膚感覚検査 5. 肺機能検査。肺活量と酸素飽和度の測定 6. 味覚検査(舌の部位による味覚の認定と味覚閾値の判定)、嗅覚検査 7. 重量感覚の測定方法と脊髄反射について 8. 発汗検査。汗腺数の測定 1～8は医療機関で実際に行われている検査を体験してもらいます。 9. 人体模型を使った実習(消化器) 10. 人体模型を使った実習(筋・生殖器) 11. 人体模型を使った実習(感覚器) 9～11は人体模型を使って臓器の立体構造を理解してもらいます。 12. 顕微鏡を使用した組織観察(肝臓・脾臓) 13. 顕微鏡を使用した組織観察(肺・心臓) 14. 顕微鏡を使用した組織観察(動脈・腎臓) 12～14は顕微鏡を使って臓器の細部を理解してもらいます。 15. まとめ レポートのチェック 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①1～8回目で行っている実験内容を理解し、それが疾患の診断にどのように重要なかを理解する。【知識・理解の獲得】 ②9～14回目1年生で学習した内容を、模型または顕微鏡を使った実習で理解を深める。【知識・理解の深化】 						
授業時間外の学修	<p>【予習】次の授業内容について教科書、1年生のプリント、実習のプリントを読んで来ること。(1時間程度) 【復習】その日に実習で勉強した内容を教科書やプリントを見て確認すること。(1時間程度)</p>						
課題に対する フィードバック	臨床検査ハンドブック 医歯薬出版	評価方法		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 総論、各論Ⅰ 各論Ⅱ 南江堂			
テキスト	臨床検査ハンドブック 医歯薬出版						
参考書	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 総論、各論Ⅰ 各論Ⅱ 南江堂						
備考							